

【BP(「赤ちゃんがきた!」)プログラム】

各地の取り組み 2 東京都中野区

BPプログラム日記

～出会いから実施までの激動の半年～

東京都中野区立文園児童館職員

吉村 昌代

初めてのBPプログラム最終回

2011年6月28日

無事?セッションも終わり、参加者の一人の方が「皆からです」とピンクの花束をくださいました。「わぁ～私にですか?」と恐縮と感激と。そして、記念撮影会。和気あいあいの中、BPプログラムが終了。初めてのBPのファシリテーター(以下Fa)で、不慣れで不安もいっぱい、夢中で取り組んできました。そして多くの方に支えられBPを実施できたことに感謝の気持ちでいっぱい。振り返ればこの半年は実に様々なことがありました。そんな半年を振り返りたいと思います。

きっかけは「新年会」

2010年11月15日

「44期の皆様へ。1月8日、柴田俊一氏先生を囲んで新年会です」(GOTOさんのメール受信)
私は、NPO 法人コミュニティ・カウンセリング・センター(C.C.C.)の2008年12月の44期NPファシリテーター養成講座(トレーナーは浜松大学柴田俊一准教授)でNPのFaの資格を取得しました。

2010年11月17日

「皆様お久しぶりです。11月14日、中野で活動されている“グループ育てる”主催の勉強会、柴田先生の名古屋弁を久々に聞きました。仕事が終わる次第いきます」とメールの返信。「皆さまにお目にかかるのが楽しみです!みんな!来てね」と、のあさんからも返信。

2011年1月8日

柴田先生と44期の仲間4人での新年会。それぞれ現場での子育て支援の情報交換。そこで初めてBPという言葉を知りました。

BPってなに?

2011年1月17日

「お会いできうれしかったです。“BP”の話をお聞きしましたが、どのように取り組むか、詳しく教えていただけますか。“アエラ with baby”の編集者のお話を伺う機会があり、いまどきのママが驚くべきものだとのこと。改めて“BP”必要だと感じました」(のあさんにメール送信)

2011年1月20日

「ありがとうございます。いろいろ調べたら、NPO 法人KKI・親子の絆づくりプログラム“赤ちゃんがきた!”BPファシリテーター養成講座、みつけました。申し込もうと思っています。お礼と報告まで」(のあさんにメール送信)



2011年1月21日

「BPについて、先日参加したフォーラムの内容を添付します。私も3月の講座へ受講申し込みました」(のあさんからのメール受信)

2011年2月4日

NHK 特報首都圏「産後4カ月間・母親も孤立を救え」で各自治体の取り組みを紹介する番組が放送されました。BPが必要と再確認した私でした。

2011年2月9日

0歳児の親から「どんなプログラムをしてくれるのですか」と勤務する児童館に問い合わせの電話、子育て支援の期待も日々変化していると実感。また児童館に生後3カ月のベビーを抱えたママが来館。「どうですか?」と尋ねると、「夜は寝るけれど、昼間は泣くのでずーっと抱えています」「えっ、それは大変ね。私、BPの勉強して来るから、何か情報提供できるかも。児童館に来てね」と伝えました。

BPのファシリテーター養成講座参加

2011年3月5～6日

大阪での養成講座に参加。のあさんとも再会。“グループ育てる”のメンバーのきくさんとも再会。のあさんときくさんが同僚だったなんて偶然すぎる。38名中、東京から数名の方が参加。多くの人にBPを紹介したいのでぜひ東京でも養成講座してくださいと無理なお願ひまでしました。いろいろな方との出会いがありとても素敵な2日間でした。

BPって、すごい

2011年3月7日

「大変お世話になりました。永年の課題が、BPで取り組めそうです。さっそく、中野区の子ども家庭部の管理職にBPのプレゼンテーションを実施したいと考えています。この2日間は、講座は大変でしたが、原田先生の温かいお人柄と他のスタッフの方の優しさ、そして参加している方の関西弁が、私に「ほっこり」をたくさんくださり、気づけば私がリフレッシュ。BPと「ほっこり」とたくさんプレゼントをいただいた講座でした。ありがとうございます。今度は、私が新米ママにプレゼントできるようがんばります。今後とも、よろしくお願ひします」(KKIへのメール送信)

東日本大震災

2011年3月11日

未曾有の自然災害に日本中がうちのめされました。東京でも震度5強、電車も止まり大パニック

絆とは、人々のつながりに気づき、築いていくもの

です。児童館では保護者のお迎えまで子どもを保護、夜8時引き渡し終了。数時間徒歩で帰宅した人がたくさんでした。近隣の小学校も帰宅困難者のための避難所になりました。

2011年3月14日

東京でも余震が続く中、「母子二人でいると不安」と乳幼児親子の利用が増加。「明りは節電、心は充電」みんなで明るく過ごしましょうと利用を呼びかけました。BP養成講座が1週間ずれていたら参加できなかったらと思うと、運命を感じます。

2011年3月15日

私は4月から別の児童館に異動。上司の管理職も異動が、また震災もあり、BPのプレゼンは延期。異動先の児童館館長にBPの資料を送り、実施について相談。実施できるのか不安でした。

それでもBPをPR

2011年3月28日

「皆様お元気ですか。震災以来、心が折れそうですが、こんな時こそ明るく元気で過ごしたいですね。震災の前の3月5～6日大阪でBPプログラムファシリテーター養成講座に参加してきました。のあさんも一緒でした。とてもよかったので皆さんにご紹介します。東京で7月に養成講座があります。詳しくはNPO法人KKIのホームページをご覧ください。」(44期の皆様へメール送信)

2011年3月31日

北原児童館最後の日。たくさんの乳幼児親子が集まってお別れをしてくださいました。「BPぜひ実施してください」と励まされました。

私は児童館職員として、乳幼児親子～中高生までを対象に地域の方と協力して居場所や仲間作りの子育て支援の活動をしてきました。親子スキンシップ遊びや歌遊び、また親の要望を取り入れた行事、関係機関と連携しながら相談対応や講座なども実施しています。1歳～2歳児親子向けの活動が中心となり、0歳児親子のニーズを感じながら対応に悩んでいました。そこで、BPならアシスタントがいればPaが一人でもできるので、実績を作って中野区でも広めたいと考えました。連携している地域子育て支援センターでもいろいろな0歳児の親向けの講座はあるけれど、構造化されたBPプログラムはより効果的と確信しました。そして私は勝手にBP宣伝をしていました。

新しい勤務地に

2011年4月1日

文園児童館でも、地域のサークルによる様々な子育て支援の活動行われていました。BPはできるかなと少し不安がありました。「既存の活動や事業を実施しながら、皆さんには迷惑をかけないよう取り組むので是非BPを実施させてください」とBPの有効性を館長に訴えました。

2011年4月20日

館長や職場の同僚の理解をえて、BPの実施が決まりました。新しい職場では新年度が始まったばかりで忙しく、BPの準備は大型連休中ほとんど自宅のパソコンに座りっぱなしで進めました。

いよいよBP

2011年5月17日

BPの参加者募集PR開始。児童館の常連の方の子は7か月を過ぎ、前期の対象からはずれ、とても残念。生後2～6か月の第1子のママはかなり限定的。チラシやポスター、近隣の保健福祉センターの3か月検診に出向いたりしてPR。

2011年6月7日～28日

「初めてのBPで、不慣れで不安もいっぱい、でも素晴らしいプログラムなので一生懸命取り組みます。みなさんのご協力をお願いします」BPは新米ママ8人と新米Paと、何と館長をアシスタントでスタート。「二人で閉じこもっていましたがBPに参加して話すことでリフレッシュでき、前向きになれた」「単発の講座はたくさんあるが、BPは体系化されていてよい。3か月くらいやってほしい」と嬉しい参加者の声をきいて、ほっとしました。参加者にBPで何をするか理解してもらうため、4回のテーマ、毎回の学習目標や内容を会場に掲示しました。また毎回のセッション計画表も、自分でイメージトレーニングをしながらファシリテーターガイドの表を改めてパソコンに打ち直して使いました。そしてKKIのアドバイスを受けながらBPに取り組み、セッションが概ね計画通り実施できました。

みなさんありがとう

BPと運命的出会いをした私、多くの人たちと出会い、多くの人に助けられてきました。絆とは、人々のつながりに気づき、築いていくものと思わせていただきました。心から、皆さんに感謝です。そして、そんな激動の半年を黙って見守ってくれた夫にもありがとうと伝えたいです。

実践を積みながらBPを広めるとともに、今後様々なネットワークを生かして、ライフワークとして取り組んでいきたいと思っています。

「いまどきのママ」は30年前の私

実は、私も第1子出産後、不安感・孤立感がとても強かったのです。私自身が核家族で育ち、結婚後は近所に知り合いもなく、人づきあいが苦手な私。子どもをバギーにのせながら地域の公園をジブシーのように歩き回った30年前が昨日のこと



のように思い出されます。その時の感情が、子育て支援の原点で、仕事にも生かしてライフワークとなっています。30年前にBPがあったら私の子育てももっと違ったでしょうね。